

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-018786

(43)Date of publication of application : 17.01.1997

(51)Int.Cl.

H04N 5/268

H04N 5/907

(21)Application number : 07-161717

(71)Applicant : NEC ENG LTD

(22)Date of filing : 28.06.1995

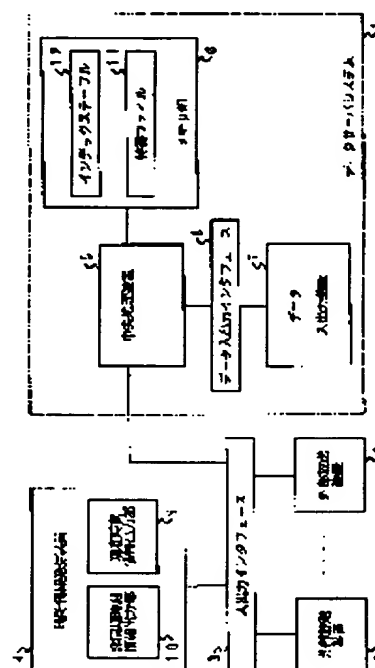
(72)Inventor : ASAI MASAKO
KARASAWA ATSUSHI

(54) BROADCAST PROGRAM CONTROL SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a broadcast program control system by which special program data are sent quickly.

CONSTITUTION: The system is made up of a central processing unit 5, a memory section 6 storing data to be delivered to an external broadcast equipment 2, a data input output device 7, a data input output interface 8 inputting/outputting data to/from the memory section 6, and an interface 3 connecting to the central processing unit 6 and inputting/outputting data to/from the external broadcast equipment 2. The memory section 6 has a special program file 11 storing plural special program data, an index table 12 storing a list of the special program file 11, prepares the special program data in advance and manages unifieldly data by correcting the data to deliver the data again to the external broadcast equipment 2 when data revision for preparation of plural special program data takes place.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

BEST AVAILABLE COPY

Copyright (C): 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-18786

(43) 公開日 平成9年(1997)1月17日

(51) Int.Cl.⁶

H 0 4 N 5/268
5/907

識別記号

庁内整理番号

F I

H 0 4 N 5/268
5/907

技術表示箇所

B

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平7-161717

(22) 出願日 平成7年(1995)6月28日

(71) 出願人 000232047

日本電気エンジニアリング株式会社
東京都港区芝浦三丁目18番21号

(72) 発明者 浅井 昌子

東京都港区芝浦三丁目18番21号 日本電気
エンジニアリング株式会社内

(72) 発明者 唐沢 篤

東京都港区芝浦三丁目18番21号 日本電気
エンジニアリング株式会社内

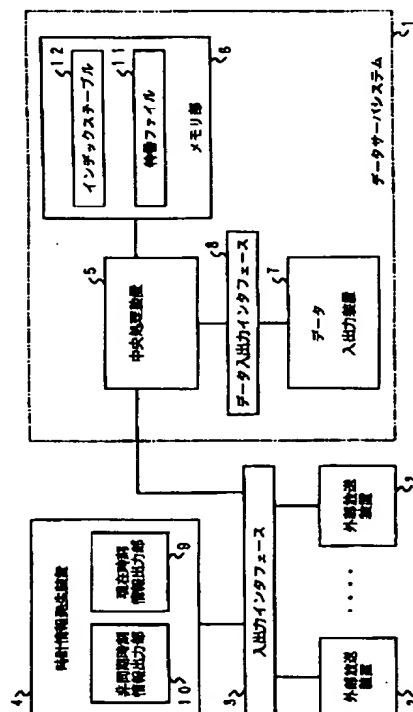
(74) 代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

(54) 【発明の名称】 放送番組制御方式

(57) 【要約】

【目的】 特番データを迅速に送出することができる放送番組制御方式を提供する。

【構成】 本発明は、中央処理装置5と、外部放送装置2へ配信するためのデータを格納するメモリ部6と、データ入出力装置7と、データをメモリ部6に入出力するデータ入出力インタフェース8と、中央処理装置6に接続されデータを外部放送装置2に入出力するインタフェース3とを有する。メモリ部6は、複数の特番データを格納する特番ファイル11と、これに対応して設けられ特番ファイル11の一覧を格納するインデックステーブル12を有し、特番データの事前準備をすることができ、かつ、複数の特番データの準備をするデータの変更が発生した場合にデータを修正して各外部放送装置2へデータの再配信が可能となるようにデータの一元管理を行う。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 中央処理装置と、この中央処理装置に接続され外部放送装置へ配信するためのデータを格納するメモリ部と、データ入出力装置と、このデータ入出力装置と前記中央処理装置とに接続され前記データを前記メモリ部に入出力するデータ入出力インタフェースと、前記中央処理装置に接続され前記データを外部放送装置に入出力するインタフェースとを有し、前記メモリ部は、複数の特別番組データを格納する特番ファイルと、この特番ファイルに対応して設けられ特番ファイルの一覧を格納するインデックステーブルを有し、特別番組データの事前準備をすることができることを特徴とする放送番組制御方式。

【請求項2】 請求項1に記載された放送番組制御方式において、複数の特別番組データの準備をするデータの変更が発生した場合に前記メモリ部のデータを修正して各外部放送装置へデータの再配信が可能となるようにデータの一元管理を行うことを特徴とする放送番組制御方式。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、放送番組のデータを制御する放送番組制御方式に関する。

【0002】

【従来の技術】 事件・事故等で緊急に特別番組（以下「特番」と称す）のデータを送出する場合、通常のデータ編集と同じ操作で、通常番組のデータを特番用に変更して自動番組制御装置等へ再配信する。

【0003】 従来の放送番組制御方式では、特番データを送出する場合、図7に示すように、既に各外部放送装置に配信した①のような通常データをデータサーバシステムのデータ入出力装置のデータ表示画面に表示させ、②のような特番データのaに相当するa'の部分のデータを一つづつ手で書き換え、再度各外部放送装置へ配信し、運用を行う。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 特番発生時には、迅速なデータ変更が要求されるが、前記のようにデータ表示画面の1画面単位でのデータ編集操作であるため、迅速さに欠けるという問題がある。また、特番送出があらかじめ予想されていても、その発生がいつになるか不明確であり、特番データの内容が決定していても、なかなか通常番組を書き換えられないという問題もある。

【0005】 本発明の目的は、特番のほとんどがアンタイム運行であることに注目し、特番用のアンタイムデータを迅速に生成することと、生成した特番用データを通常番組データへ組込む、または通常番組データと入替えて特番データを迅速に送出することができる放送番組制御方式を提供することにある。

【0006】 また、本発明の目的は、特番送出があらかじめ

2

じめ予想されるが、その発生がいつになるか不明確であるような場合でも、予め特番データを作成しておくことにより、迅速に特番データを送出することができる放送番組制御方式を提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】 本発明は、前記課題を解決するために、中央処理装置と、この中央処理装置に接続され外部放送装置へ配信するためのデータを格納するメモリ部と、データ入出力装置と、このデータ入出力装置と前記中央処理装置とに接続され前記データを前記メモリ部に入出力するデータ入出力インタフェースと、前記中央処理装置に接続され前記データを外部放送装置に入出力するインタフェースとを有し、前記メモリ部は、複数の特別番組データを格納する特番ファイルと、この特番ファイルに対応して設けられ特番ファイルの一覧を格納するインデックステーブルを有し、特別番組データの事前準備をすることができることを特徴とする。

【0008】

【実施例】 次に、本発明の実施例を図面に基いて詳細に説明する。

【0009】 図1は、本発明の1実施例を示すブロック図である。図1に示すように、本発明の放送番組制御方式は、データサーバシステム1と、このデータサーバシステム1に接続されデータを複数の外部放送装置2に入出力する入出力インタフェース3とを有している。前記データサーバシステム1には、時計情報発生装置4が入出力インタフェース3を介して接続されている。

【0010】 前記データサーバシステム1は、中央処理装置5と、この中央処理装置5に接続され外部放送装置2へ配信するためのデータを格納するメモリ部6と、データ入出力装置7と、このデータ入出力装置7と前記中央処理装置5とに接続され前記データを前記メモリ部6に入出力するデータ入出力インタフェース8とを有し、データの変更が発生した場合にデータを修正して各外部放送装置2へデータの再配信が可能となるようデータの一元管理を行う。前記時計情報発生装置4は、現時刻情報出力部9と、非同期時刻情報出力部10とを有している。

【0011】 前記メモリ部6には、複数の特番データを格納する特番ファイル11と、この特番ファイル11に対応して設けられ特番ファイル11の一覧を格納するインデックステーブル12が予め登録されている。

【0012】 図2は図1のインデックステーブル12がデータ入出力装置7の表示画面に表示された例を示す図である。このインデックステーブル12は、データの有無を示す情報と、ファイル名等のコメントからなっている。

【0013】 図3は、図1の特番ファイル11のデータを新規作成する場合にデータ入出力装置7の画面に表示された特番データ新規作成画面および図1のデータ入出

3

力装置の画面に表示されたデータ表示例を示す図である。新規作成画面は、特番のデータ構成の特性を利用し、先頭データ開始時刻とDデータである本編データの送出素材を指定する画面(図3の①)と、QデータであるCMデータの継続時間とCM素材を指定する画面(図3の②)で構成されている。図1のデータ入出力装置7の画面に表示されたデータの1つは、開始時刻と、VB(映像送出素材)と、AB(音声送出素材)とからなり画面(図3の③)に表示される。

【0014】図4は、図1のインデックステーブル12と特番ファイル11との関係を示す図である。特番ファイル11は、インデックステーブル12に登録された複数の特番ファイル11に各々対応して予め生成されている。図5は本発明の1実施例の動作を示すフローチャートである。図6は特番データの通常データへの転送例を示す図である。

【0015】これらの図1～図6を用いて本発明の1実施例の動作について説明する。

【0016】事件・事故等で緊急に特番を送出する場合、まずオペレータは特番ファイル11に特番データを新規登録する。

【0017】特番データの新規登録処理は、まずインデックステーブル12を表示画面に表示する(図5のステップS1)。オペレータは表示画面に表示されたインデックステーブル12のデータの有無を示す情報を参照し、インデックステーブル12の中から、ファイル内にデータの存在しない一つの特番ファイル11を選択すると(ステップS2)、特番データ新規作成画面(図3の①)が表示画面に表示される。

【0018】オペレータは画面に表示された新規作成画面(図3の①)の先頭データ開始時刻と、送出素材に各々パラメータを入力し、画面を切り替える。図3の①は先頭データを「17:15:00」とし、送出素材を「N1」と指定した例となる。

【0019】次に、オペレータは画面に表示された新規作成画面(図3の②)のCMデータ継続時刻と、CM素材に各々パラメータを入力し、画面を切り替える。図3の②は、継続時間「1:30」のCMデータ(CM素材「CM」)を3つ分指定した例となる。

【0020】画面はデータ表示画面になり、新規作成画面で入力されたパラメータの条件で、先頭データと指定した個数分の継続時間を持つCMデータ(Qデータ)と、それに続く本編データを指定した送出素材で交互に自動生成し、表示する。図3の③が前記の例で指定したパラメータにより自動生成された特番データの例となる。

【0021】前述のように特番データを作成し、必要に応じてデータ表示画面で修正し、一つの特番データとする。この時、この特番ファイル11に対応するインデックステーブル12には、データ有の情報が表示され、コ

4

メントが記述可能となる。

【0022】このようにして、数種の異なったパターンの特番データを準備し、そのインデックステーブル12を表示させた例が図2に示したものとなる。

【0023】ここまでの、特番データの作成方法である。次に作成された特番データを通常データまたは差替えデータへ転送する方法を説明する。

【0024】オペレータはインデックステーブル12を画面に表示させ、データ有無情報とコメント情報を参照し(ステップS3)、使用する特番ファイル11を選択する。オペレータが転送キーを押下すると、転送先のデータを指定すると必要に応じ先頭データの開始時刻を自動的に書き換えて転送処理を行う(ステップS4、S5、S6、S7)。このため、特番データの開始時刻の確定が必須でなくなり、事前に複数のデータの準備が可能である。

【0025】図6は、特番データの通常データへの転送例を示している。これら一連の処理により、特番発生時に迅速に特番データを作成し、作成された特番データを通常データへ転送し、各外部放送設備へ再度データ配信することを可能とした。

【0026】また、インデックステーブル12を表示させることで、前記以外に特番データから特番データへの転送処理、特番ファイル11内のデータの削除処理などのファイルの編集処理を容易にした。

【0027】特番ファイル11の新規作成と、インデックステーブル12の利用により、特番発生時、事前に準備した特番データを通常データへ転送する方法で、より迅速にかつ簡単に特番データを各外部放送設備に配信することを可能とした。

【0028】ステップS3でデータが無い場合には、入力キーは新規か否かを判断して新規である場合には、特番データ新規作成の画面表示をしてから、次にデータの画面表示をする(ステップS8、S9、S10)。ステップS8で入力キーは新規でないと判断した場合には、すなわちコピーであると判断した場合には特番データからか否かを判断して転送元を指定する(ステップS11、S12、S13)。

【0029】

【発明の効果】本発明の放送番組制御方式は、特番ファイルを保有するため、特番データの事前準備をすることができ、かつ、複数の特番データの準備をすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の1実施例を示すブロック図である。

【図2】図1の実施例におけるインデックステーブルがデータ入出力装置の表示画面に表示された例を示す図である。

【図3】図1の実施例における特番ファイルのデータを新規作成する場合にデータ入出力装置の画面に表示され

た特番データ新規作成画面およびデータ入出力装置の画面に表示されたデータ表示例を示す図である。

【図4】図1の実施例におけるインデックステーブルと特番ファイルとの関係を示す図である。

【図5】本発明の1実施例の動作を示すフローチャートである。

【図6】本発明の1実施例における特番データの通常データへの転送例である。

【図7】従来の放送番組制御方式における通常データと特番データを説明するための図である。

【符号の説明】

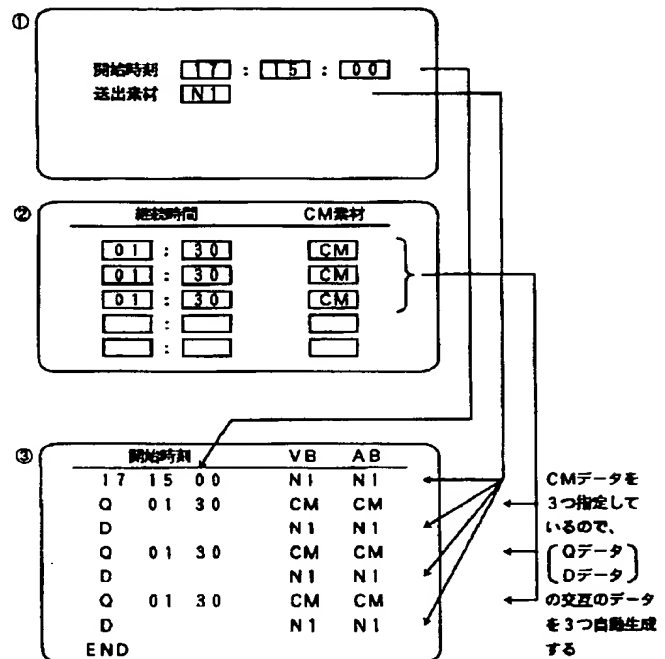
1 データサーバシステム

- 2 外部放送装置
- 3 入出力インタフェース
- 4 時計情報発生装置
- 5 中央処理装置
- 6 メモリ部
- 7 データ入出力装置
- 8 データ入出力インタフェース
- 9 現在時刻情報出力部
- 10 非同期時刻情報出力部
- 11 特番ファイル
- 12 インデックステーブル

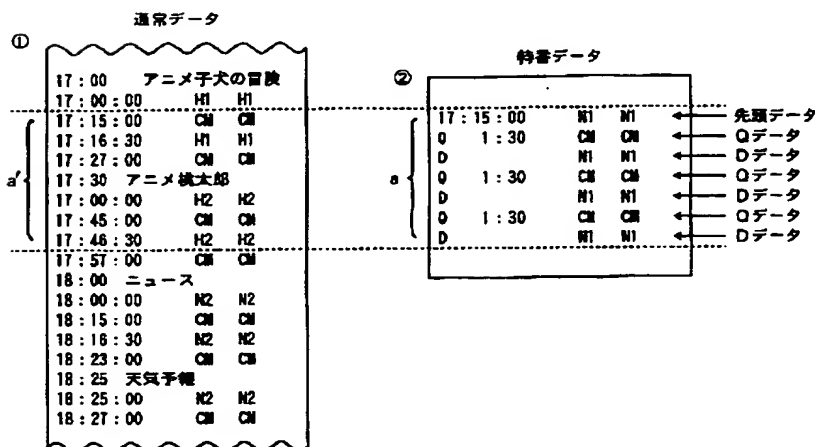
【図2】

データ有無情報			ファイルコメント		
01	*	緊急通報〇〇	11	*	事故発生(飛)
02	*	緊急通報△△	12	*	事故発生(車)
03	*	緊急通報□□	13	*	事故発生(船)
04	*	緊急通報××	14		
05	*	災害発生!!	15		
06	*		16		
07	*		17	*	
08	*	災害発生??	18	*	
09	*	★優勝決定★	19		
10	*	★優勝決定★	20		

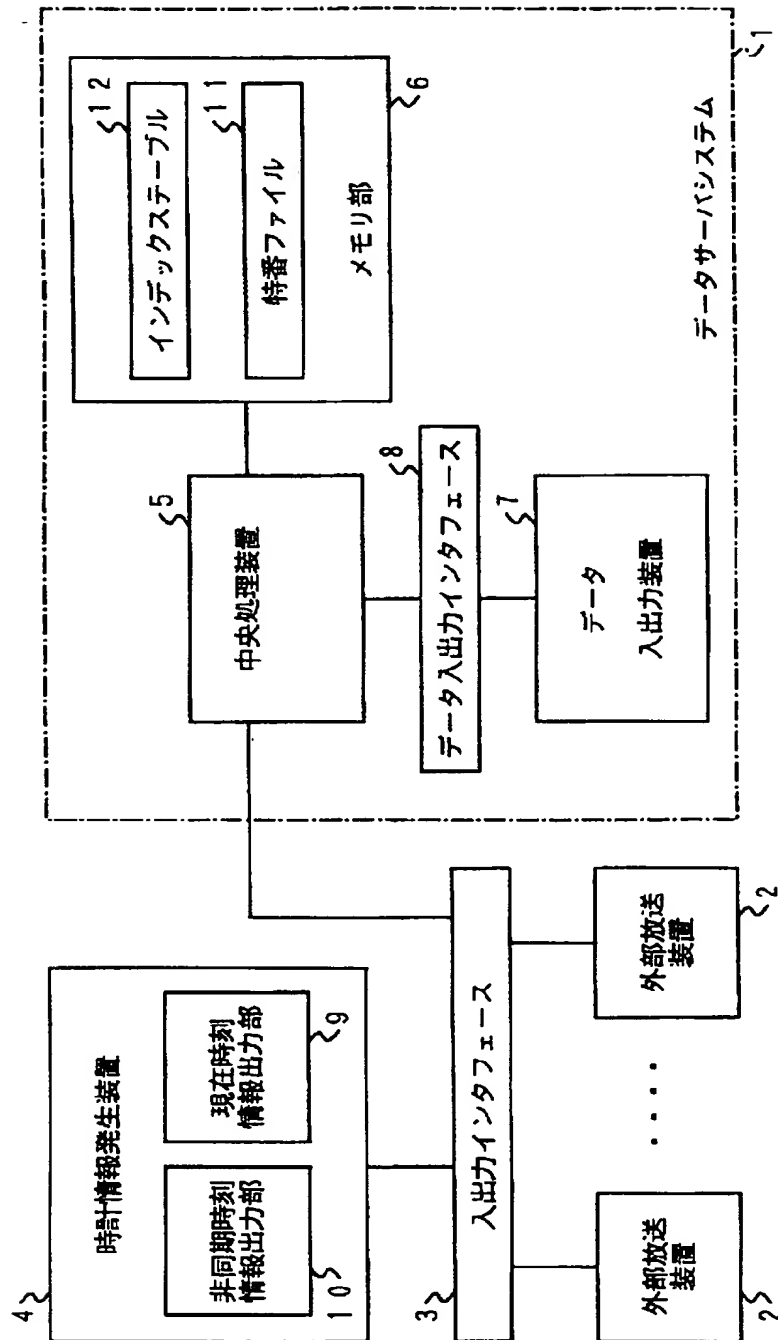
【図3】



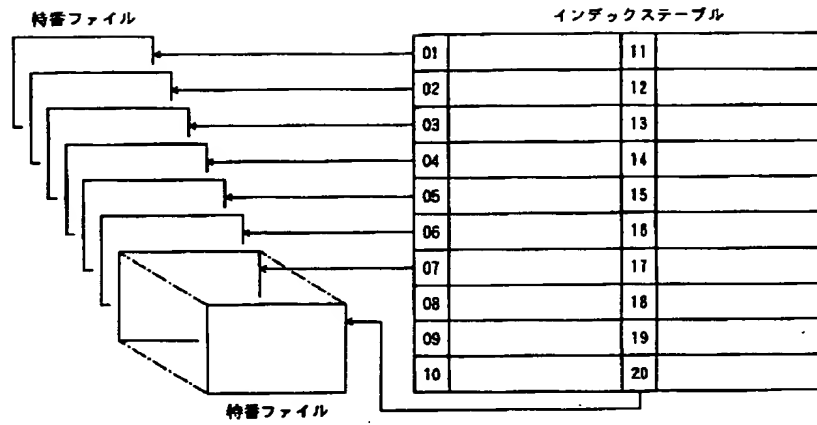
【図7】



【図 1】

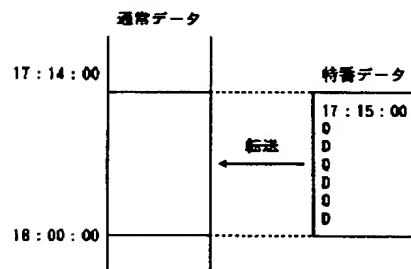


【図4】

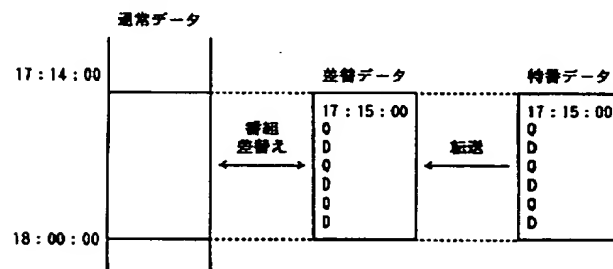


【図6】

① 特番データを通常データへ転送する例



② 特番データを差替データを転送し、番組差替えを行う例



【図 5】

